

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	清掃総務運営事務事業		
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業	両施設の維持管理	-
2	清掃総務事務事業	美化センター運営事務	②
3	美化センター維持管理事業	管理棟の維持管理及び付属施設の維持管理	-
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業	し尿処理手数料、ごみ処理手数料等の賦課徴収事務	-
	ごみ収集運搬事業		
5	ごみ収集運搬事業	可燃ごみ、資源ごみ等収集運搬、剪定枝収集運搬業務	-
	ごみ処理事業		
6	ごみ処理作業車維持管理事業	トラック、重機等の維持管理	-
7	一般廃棄物選別保管処理事業	臨時職員の雇用、作業研修委託事務、粗大ごみ等の廃棄物運搬・処理業務	-
8	ごみ焼却施設解体事業	ごみ焼却施設の解体に伴う土壌汚染調査、解体工事設計等	③
9	し尿収集運搬事業	汲み取りトイレ及び仮設トイレ等のし尿の収集運搬業務	-
10	し尿処理事業	し尿処理施設の維持管理	-
11	し尿処理施設維持整備事業	し尿処理施設の機能維持のための機器の補修整備及び定期点検	③

予算事業名	清掃総務運営事務事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業	係名	施設係
		事業番号	1
		事業開始年度	不明

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボール場の適正な維持管理を行う。				
対象 (誰を・何を)	虫窪地区住民・西久保地区住民				
内容	ごみ焼却処理施設の建設、し尿旧投棄場跡地の地元還元施設として整備した両施設の管理運営を行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	695	1,996	1,696
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	695	1,996	1,696
	職員人数 (概算職員数)	人	0.04	0.08	0.11
	人件費計 (b)	千円	245	490	657
総事業費 (a)+(b)	千円	940	2,486	2,353	
事業費内訳 H 27 年度	○虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場水道料 19千円 ○虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場草刈委託 1,000千円 ○用地借上料 677千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 利用団体数 (虫窪)	回	6	9	9
	② 利用者数 (西久保)	回	—	—	—
活動指標 (活動量)	① 利用日数 (虫窪)	日	85	73	100
	② 利用日数 (西久保)	日	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 利用率 (虫窪)	%	23	20	27
	② 利用率 (西久保)	%	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	両施設は、地元還元施設のため運営上必要である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツ広場、公園として広く利活用できる管理運営が必要である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	地元還元施設としての利用が図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	利用率が低い。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	地元還元施設を管理するうえで、必要最小限の経費で運営している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 利用率は低い、地元還元施設として存続が必要な施設である。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>地域の住民に利用される施設への改善が必要である。 スポーツ広場、公園等との一元管理することにより効率化を図ることを検討する必要がある。</p>
② 平成27年度に着手する事項	<p>利用状況の確認。</p>
③ 平成28年度に着手する事項	<p>一元管理に向け、地元への要望確認・関係課との調整。</p>

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

利用者が安全かつ快適に利用できるよう、引き続き、地元の要望に対応するとともに、両施設の適正な管理に努めていく。

予算事業名	美化センター維持管理事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	—	係名	施設係
		事業番号	3
		事業開始年度	昭和52年度

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	管理棟の適正な維持管理を行う。				
対象 (誰を・何を)	管理棟及び公舎				
内容	美化センターの管理棟及び公舎の維持管理を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	596	511	924
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	118	116	233
	一般財源	千円	478	395	691
	職員人数 (概算職員数)	人	0.09	0.13	0.50
	人件費計 (b)	千円	552	797	2,985
総事業費 (a)+(b)	千円	1,148	1,308	3,909	
事業費内訳	○需用費 563千円 ○役務費 361千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 開庁日数	日	310	310	310
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① 事業費	千円	596	511	924
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 床面積あたりの事業費	円	1,333	1,143	2,067
	② —	—	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	施設管理者が維持管理することが妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	美化センター運営には必要不可欠である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	事務に支障なく施設管理ができています。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の経費で維持管理を行っている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	施設の老朽化が進み修繕を必要とする場所が増えている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 美化センターを運営していくうえで、必要な施設である。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	施設の老朽化が進んでいるため、施設の建替え、改修等の検討が必要である。
② 平成27年度に着手する事項	なし。
③ 平成28年度に着手する事項	ごみ処理広域化の伴い、新設予定のし尿処理施設の建設と合わせた整備の検討。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

引き続き、美化センター管理棟及び公舎の適正な管理に努めていく。また、ごみ処理施設にあった備品の整理や老朽化している管理棟受水槽の交換修繕を行う。

予算事業名	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	—	係名	施設係
		事業番号	4
		事業開始年度	不明

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	町民生活の公衆衛生の向上				
対象 (誰を・何を)	し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等				
内容	し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	760	994	896
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	760	994	896
	職員人数 (概算職員数)	人	0.28	0.32	0.36
	人件費計 (b)	千円	1,716	1,961	2,149
総事業費 (a)+(b)	千円	2,476	2,955	3,045	
事業費内訳	○賦課徴収事務消耗品代 8千円 ○賦課徴収事務印刷製本費 588千円 ○賦課徴収事務手数料 300千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 汲み取り賦課件数	件	263	243	224
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① 汲み取り賦課件数	件	263	243	224
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 徴収率	%	99	99	99
	② —	—	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	賦課・徴収は町職員の実施が妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	賦課・徴収は町職員の実施が妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	し尿処理手数料の徴収率向上が図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	し尿処理手数料は徴収件数が少ないが、労力を必要とする事務である。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	必要経費のみを計上している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	徴収率の向上が図られている。
担当課による 評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	町外への転出者等に対する、対応の検討が必要である。
② 平成27年度に着手する事項	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、夜間徴収等を実施する。
③ 平成28年度に着手する事項	計画に基づく、夜間徴収等の継続。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を適正に行うとともに、現年度を中心とした計画的な滞納整理に努めていく。

予算事業名	ごみ収集運搬事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	ごみ収集運搬事業	係名	施設係
		事業番号	5
		事業開始年度	昭和53年度（不燃ごみ） 昭和60年度（可燃ごみ）

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	排出された廃棄物を適正に収集することにより、衛生的な生活環境の保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ等を委託により適性かつ効率的に収集する。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	176,933	223,751	225,000
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	176,933	223,751	225,000
	職員人数 (概算職員数)	人	0.61	0.76	0.80
人件費計 (b)	千円	3,738	4,657	4,775	
総事業費 (a)+(b)	千円	180,671	228,408	229,775	
事業費内訳 H 27 年度	○可燃ごみ収集運搬委託料 146,000千円 ○資源ごみ等収集運搬委託料 79,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 人口	人	32,625	32,523	32,377
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① 委託収集量	t	8,461	8,080	7,716
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 1t当たりの収集経費	円	20,900	27,700	29,200
	② —	—	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 委託業務により、効率的に収集が実施されている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 委託業務により、効率的に収集が実施されている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 委託業務により、効率的に収集が実施されている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 委託業務により、効率的に収集が実施されている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 平成27年度予算は、ごみ処理広域化に伴い年間を通じて、可燃ごみ、ペットボトル、ビン、空き缶類、不燃ごみが平塚市の処理施設へ直接搬入となり、平成27年10月からは剪定枝が二宮町の処理施設へ直接搬入となるため、収集運搬委託料が増額となっている。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 平成27年度はごみ処理広域化に伴い年間を通じて、平塚の処理施設への直接搬入となり、平成27年10月からは二宮町の処理施設に剪定枝を直接搬入するため、収集運搬委託料が増額となる。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	平成25年10月より、ごみ処理広域化に伴い可燃ごみ、ペットボトル、ビン、空き缶類、不燃ごみは平塚市の処理施設に搬入しており、平成27年10月からは剪定枝を二宮町の処理施設へ直接搬入する。運搬距離が長くなることから、引き続き効率的な収集体制の検討が必要となる。
② 平成27年度に着手する事項	ごみ処理広域化により大磯町にリサイクルセンターを建設する。それに伴い、古紙・古布を保管している資源化倉庫を解体し、古紙・古布は直接、資源化業者に搬入することになるため、収集運搬方法の検討を行う。また、現在、剪定枝は松田町の資源化業者に搬入しているが、平成27年10月より二宮町の剪定枝資源化処理施設に搬入することになるため、収集体制の見直しを行っていく。さらに、小型家電、蛍光灯類の資源化の検討も進めており、それに伴う収集体制の見直しも併せて行っていく。
③ 平成28年度に着手する事項	平成25年10月より、ごみ処理広域化に伴い可燃ごみは過渡期対応として平塚市の施設に搬入しており、平成27年10月からは剪定枝を二宮町剪定枝資源化処理施設に搬入しているが、リサイクルセンターとともに建設する可燃ごみ中継施設（平成29年度稼働予定）の稼働後は、大磯町美化センターへ搬入となる。また、リサイクルセンター（平成30年度稼働予定）稼働後は、ペットボトルも大磯町美化センターへ搬入となるため、収集体制の見直しを行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成28年2月10日

ごみ処理広域化に伴い、本町のごみの多くが平塚市一般廃棄物処理施設へ、剪定枝は二宮町ウッドチップセンターへ搬入することとなるため、引き続き、効率的で安全な収集運搬に努めていく。

予算事業名	ごみ処理事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	ごみ処理作業車維持管理事業	係名	施設係
		事業番号	6
		事業開始年度	不明

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	道路運送車両法				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	ごみ処理作業車の適正な維持管理を行う。				
対象 (誰を・何を)	ごみ処理作業車の維持管理				
内容	美化センターが所有するごみ処理作業車の法定点検・日常点検等の維持を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	9,274	9,481	8,641
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	9,274	9,481	8,641
	職員人数 (概算職員数)	人	0.20	0.15	0.16
	人件費計 (b)	千円	1,226	919	955
総事業費 (a)+(b)	千円	10,500	10,400	9,596	
事業費内訳	○燃料費 1,500千円 ○重機借上料 4,643千円 ○車検等修繕料 1,300千円 ○公用車リース料 839千円 ○自動車損害保険料 323千円 ○自動車重量税 36千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 車両台数	台	12	12	9
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① 点検日数	日	310	310	310
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 整備車両台数	台	12	12	9
	② —	—	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	車両維持管理上で必要な法定点検、修繕であり妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	車両維持管理上で必要な法定点検、修繕であり妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	車両の安全運転を鑑み、点検等の完全実施と必要最小限の整備を図っている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	取得から年数が経過している車両が多いため各箇所にも劣化が多く整備・修理費が高い。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	経年劣化している車両の入替え等を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 車両を安全に走行するうえでの点検整備を行っているが、車両の老朽化による修繕が発生している。	
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	取得から年数が経過している車両が多いため、計画的な点検整備により、維持管理経費を抑えていく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	老朽化が進んでいる軽ダンプトラックを1台更新する。また、ごみ処理施設等の解体に伴い既存している重機等の必要性を検討し2台車両変更を行う。
③ 平成28年度に着手する事項	老朽化の進んでいる車両及び入替えを行った車両等を長期的に使用するよう定期的な点検整備を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

<p>ごみ処理広域化に伴い、一般廃棄物処理施設などまでの運搬距離が長くなっているため、計画的な点検整備により安全性を高めるとともに維持管理費の削減に努めていく。</p>
--

予算事業名	ごみ処理事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	一般廃棄物選別保管処理事業	係名	施設係
		事業番号	7
		事業開始年度	平成2年度

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	種別ごとに搬入された廃棄物を、ごみ処理施設で適正に選別等を行うとともに、施設の維持管理を行う。 また、選別された廃棄物を委託等により処理施設へ搬出し、資源化・最終処分を適正に行う。				
対象 (誰を・何を)	町内一般家庭・事務所から収集又は搬入されるごみ、ごみ処理施設				
内容	種別ごと搬入された廃棄物を、委託業務によりごみ処理施設で適正に選別等を行うとともに、施設の維持管理を行う。また、選別された廃棄物を委託等により処理施設へ搬出し、資源化・最終処分を適正に行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)
	国庫支出金	千円	172,302	73,769	60,678
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	24,838	7,458	21,490
	一般財源	千円	147,464	66,311	39,188
	職員人数 (概算職員数)	人	0.52	0.69	0.95
	人件費計 (b)	千円	3,187	4,228	5,671
	総事業費 (a)+(b)	千円	175,489	77,997	66,349
事業費内訳	○共済費 25千円 ○賃金 1,848千円 ○施設管理消耗品 725千円 ○印刷製本費 81千円 ○光熱水費 1,232千円 ○修繕費 100千円 ○汚泥貯留槽清掃手数料 2,090千円 ○施設管理・廃棄物処理委託料 53,008千円 ○自動車通行料 28千円 ○用地借上料 1,401千円 ○公害健康被害補償賦課金 140千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 家庭系ごみ	t	9,753	9,395	8,625
	② 事業系ごみ	t	1,893	1,297	1,191
活動指標 (活動量)	① ごみ処理量	t	11,646	10,692	9,816
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 1 t あたりの処理経費	円	14,800	6,900	6,200
	② —	—	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	残渣等の運搬、処分については全て民間委託業務で行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	残渣等の運搬、処分については全て民間委託業務で行っている。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	種別ごと搬入された廃棄物を、委託業務によりごみ処理施設で適正に選別等を行うとともに、施設の維持管理を行っている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	資源化や最終処分を行うために、適正な処分費が掛かる。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	資源化や最終処分を行うために、適正な処分費が掛かる。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 民間委託を行い適正な廃棄物の最終処分を行っている。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>ごみ処理広域化に伴い、町の一般廃棄物のほとんどが平塚市の処理施設で処理されることにより、全体の委託料は減少していくが、更に委託料を精査し予算のスリム化を図る必要がある。</p>
② 平成27年度に着手する事項	<p>平成27年度から、剪定枝の搬入先が二宮町となることから、それぞれの搬入先との連絡調整を密にし適正な廃棄物処理の運営を行う。</p>
③ 平成28年度に着手する事項	<p>平成25年10月から平塚市への搬出を行い、平成27年10月からは剪定枝を二宮町へ搬出しているが、搬出する廃棄物の数量等が流動的であるため、それぞれ搬入先との連絡調整を密に行い、適正な廃棄物処理を行う。</p>

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

搬入された一般廃棄物を、処理先である1市2町ごみ処理広域化処理施設等別に分解・選別等を行う。また、搬入先である処理施設と連絡調整を密にし、適性かつ計画的な執行を行う。

予算事業名	し尿収集運搬事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	—	係名	施設係
		事業番号	9
		事業開始年度	不明

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	し尿を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。				
対象 (誰を・何を)	汲み取り式便所の町民、事業者等				
内容	一般家庭及び事業所等から排出される、し尿を委託により適性かつ効率的に収集する。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	42,317	42,230	42,120
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	2,868	3,048	2,947
	一般財源	千円	39,449	39,182	39,173
	職員人数 (概算職員数)	人	0.23	0.15	0.50
	人件費計 (b)	千円	1,409	919	2,985
総事業費 (a)+(b)	千円	43,726	43,149	45,105	
事業費内訳	○し尿収集運搬委託料 42,120千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 汲み取り世帯数・事業所数	世帯	277	261	246
	② し尿収集量	kℓ	454	447	440
活動指標 (活動量)	① 延べ汲み取り世帯数・事業所数	世帯	3,690	3,430	3,190
	② し尿収集量	kℓ	454	447	440
成果指標 (達成度等)	① し尿収集回数	回	1	1	1
	② 1kℓあたりの収集経費	円	93,200	94,500	95,730

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	全面委託で実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	全面委託で実施している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	原則1ヶ月に1回収集しており、対象者の要望に対応している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	収集対象世帯の減少により、収集の効率性が低くなっている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	収集量の減少に合わせて委託料を精査した。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	収集対象世帯の減少により、収集の効率性が低くなっている。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり年々事業が縮小されている。し尿収集運搬事業の適正化、安定化を図るとともに、収集コストの適正化を図っていく必要がある。</p>
② 平成27年度に着手する事項	なし
③ 平成28年度に着手する事項	なし

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

一般家庭及び事業所から排出されるし尿を委託することにより、適性かつ効率的な収集運搬に努めていく。

予算事業名	し尿処理事業	シート作成日	平成27年9月9日
		担当課名	美化センター
細分事業名	—	係名	施設係
		事業番号	10
		事業開始年度	昭和52年度

1.総合計画上の位置づけ

章	—	総合計画実施計画	
項	—	認定番号	—
節	—	事業名	—

2.事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—				
目的 (何のために)	し尿及び浄化槽汚泥を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。				
対象 (誰を・何を)	し尿及び浄化槽世帯、事業所				
内容	町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥をし尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥については委託により処理し、し渣については平塚市ごみ焼却施設で処理する。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算見込)	平成27年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	52,486	63,103	70,607
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	29,867	29,869	35,113
	一般財源	千円	22,619	33,234	35,494
	職員人数 (概算職員数)	人	0.33	0.30	0.20
	人件費計 (b)	千円	2,022	1,838	1,194
総事業費 (a)+(b)	千円	54,508	64,941	71,801	
事業費内訳	○消耗品 12,333千円 ○燃料費 2千円 ○光熱水費 24,000千円 ○修繕費 500千円 ○手数料 2,031千円 ○委託料 31,446千円 ○使用料及び賃借料 215千円 ○原材料費 80千円				
H 27 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	25年度 (実績値)	26年度 (実績値)	27年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① し尿及び浄化槽人口	人	18,797	18,746	18,690
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① し尿及び浄化槽汚泥処理量	kℓ	9,226	9,215	9,211
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 1kℓあたりの処理経費	円	5,690	6,850	7,670
	② —	—	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	委託業務により、適切な処理がされている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	委託業務により、適切な処理がされている。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	し尿及び浄化槽汚泥の全量をし尿処理施設で適正に処理している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	施設の処理能力に合わせた施設運営を行っている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	施設の運営を民間事業者に完全委託をし、適正な運転をするための費用がかかる。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	適正に処理をされているが、本施設のみでは平塚市と大磯町のし尿を処理できない状態が続いている。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿、浄化槽汚泥の受入を行っており、設備を適正に維持管理するためには整備計画を立て、計画的に整備していく必要がある。
② 平成27年度に着手する事項	現業職員の退職を見据えて、施設運転管理を全面委託し適正な施設管理を行う。 また、ごみ処理広域化による新たな施設建設等の検討を進めるため、施設の精密機能検査を行う。
③ 平成28年度に着手する事項	ごみ処理広域化により、平成31年度の稼働を目標に新たな施設の建設を検討しているが、新たな処理の処理規模や公共下水道の進捗を踏まえて、既に受入を行っている平塚市と既存施設の延命化や新施設の建設延期などの検討・調整を行う。

6.平成28年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成28年2月10日

し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、し尿処理施設の運営管理を民間業者に全面委託し、適正な施設運営に努めていく。
また、精密機能検査の結果と、1市2町のし尿・浄化槽汚泥のくみ取り量の推移を踏まえ、ごみ処理広域化によるし尿施設の処理規模等を検討する。